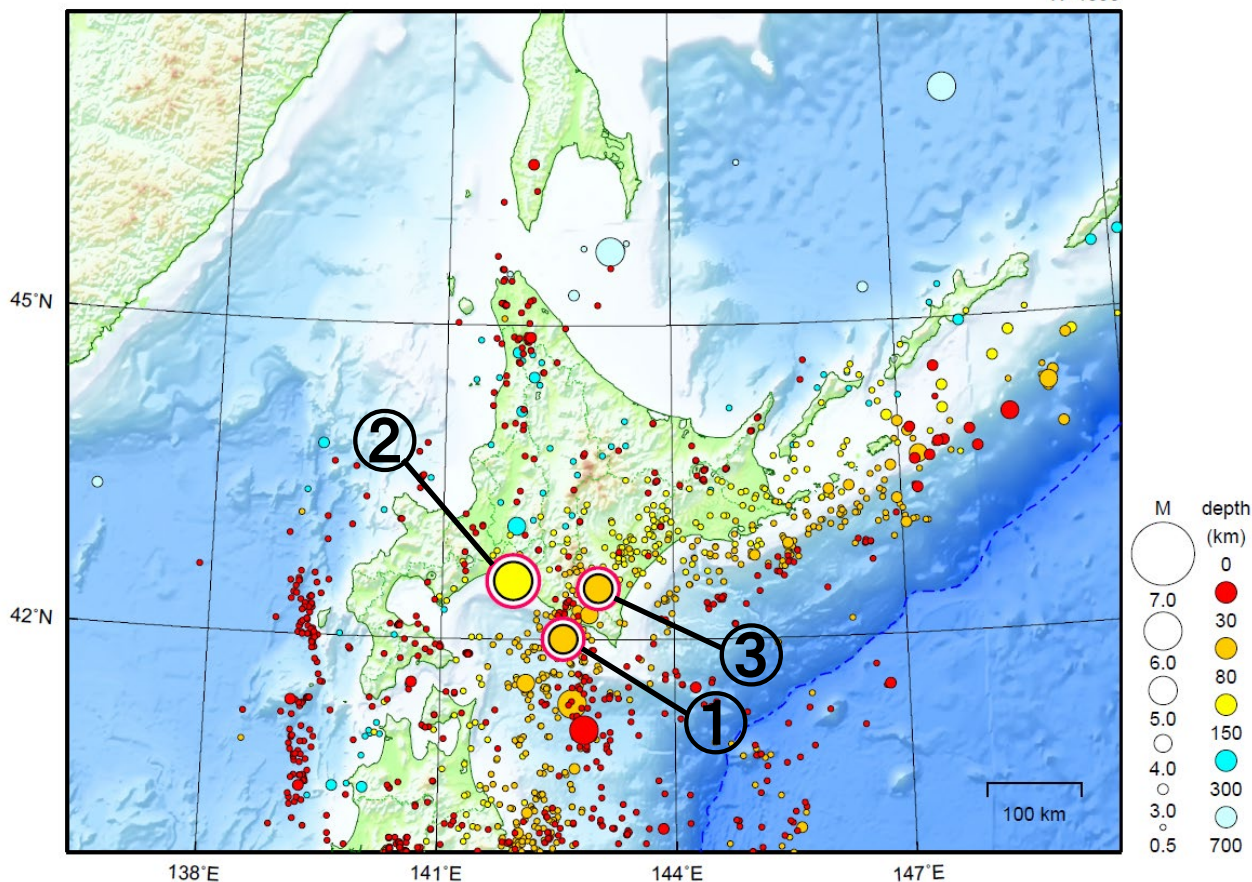


北海道地方

2023/06/01 00:00 ~ 2023/06/30 24:00

N=1393



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

- ① 6月3日に浦河沖でM5.1の地震（最大震度3）が発生した。
- ② 6月11日に苫小牧沖でM6.2の地震（最大震度5弱）が発生した。
- ③ 6月19日に十勝地方南部でM5.0の地震（最大震度3）が発生した。

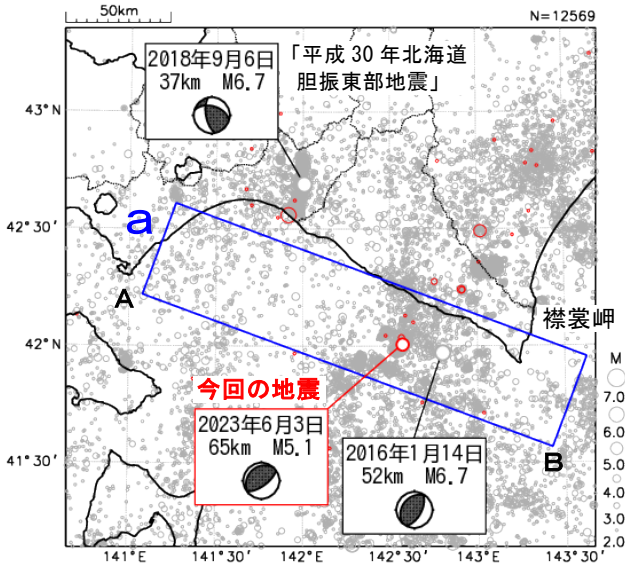
情報発表に用いた震央地名は〔浦河沖〕である。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

6月3日 浦河沖の地震

震央分布図
(2001年10月1日～2023年6月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 2.0$)
2023年6月の地震を赤く表示

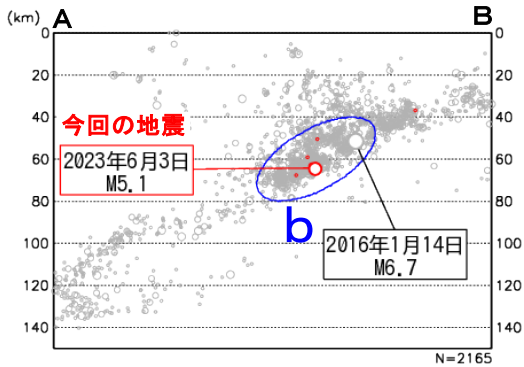


2023年6月3日19時35分に浦河沖の深さ65kmで $M 5.1$ の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

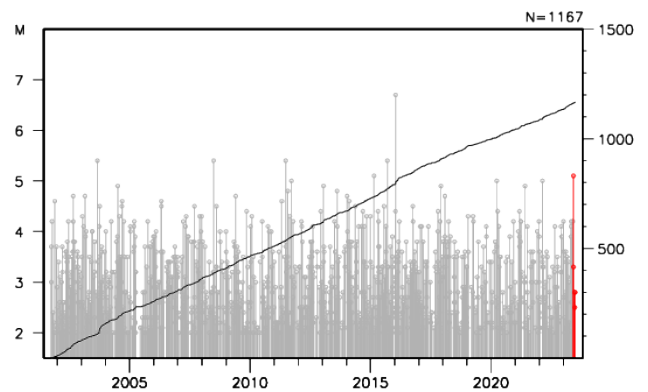
2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、 $M 5$ 程度の地震がしばしば発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、 $M 6.0$ 以上の地震がしばしば発生している。「昭和57年(1982年)浦河沖地震」($M 7.1$ 、最大震度6)では、北海道で重軽傷者167人、住家全半壊41棟などの被害が生じた(「昭和57・58年災害記録」(北海道、1984)による)。

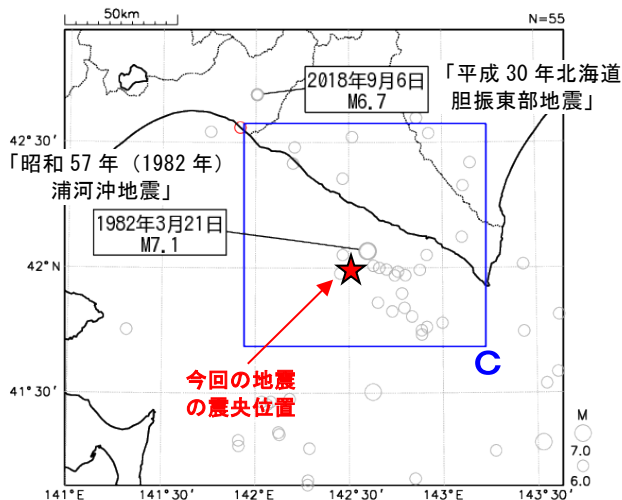
領域a内の断面図 (A-B投影)



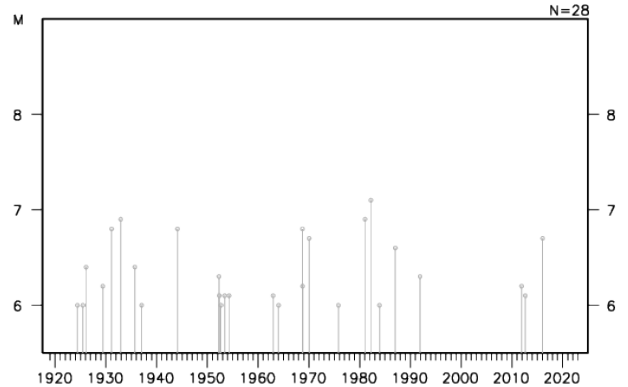
領域b内のM-T図及び回数積算図



震央分布図
(1919年1月1日～2023年6月30日、
深さ0～150km、 $M \geq 6.0$)

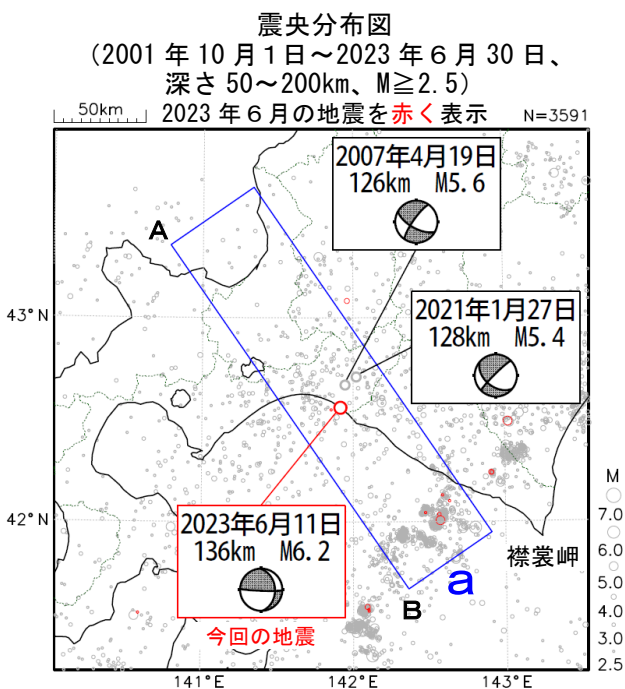


領域c内のM-T図



6月11日 苫小牧沖の地震

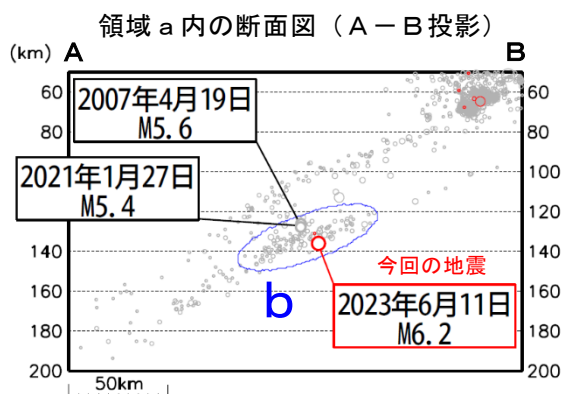
情報発表に用いた震央地名は〔浦河沖〕である。



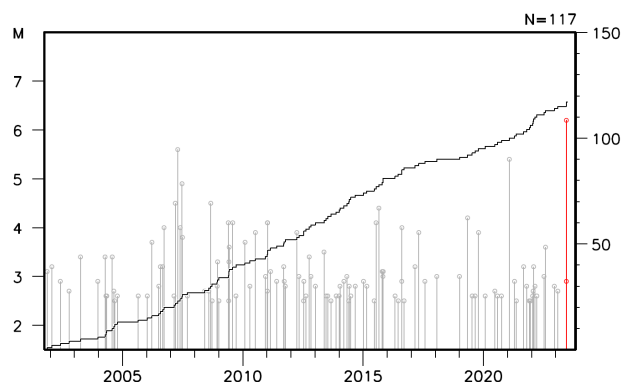
2023年6月11日18時54分に苫小牧沖の深さ136kmでM6.2の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震は太平洋プレート内部(二重地震面の下面)で発生した。発震機構は太平洋プレートの傾斜方向に張力軸を持つ型である。この地震により、軽傷1人の被害が生じた(2023年6月19日17時00分現在、総務省消防庁による)。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震は今回を含めて3回発生している。

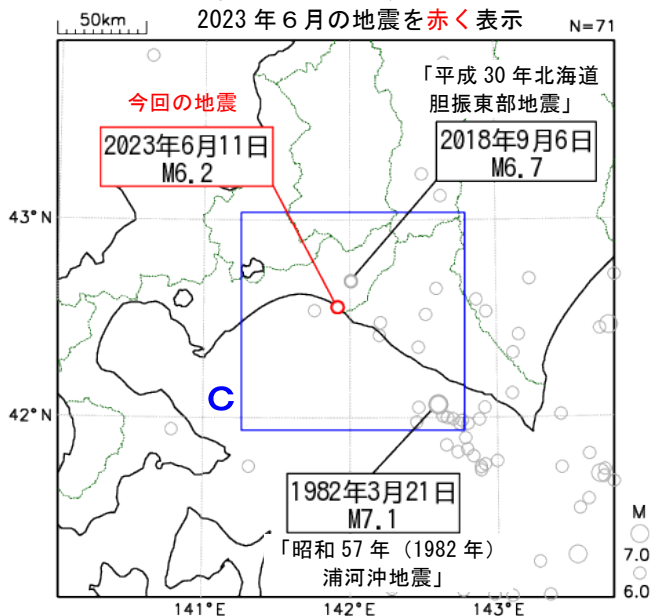
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。2018年9月6日の「平成30年北海道胆振東部地震」(M6.7、最大震度7)により、死者43人、負傷者782人、住家全半壊2,129棟などの被害が生じた(総務省消防庁による)。



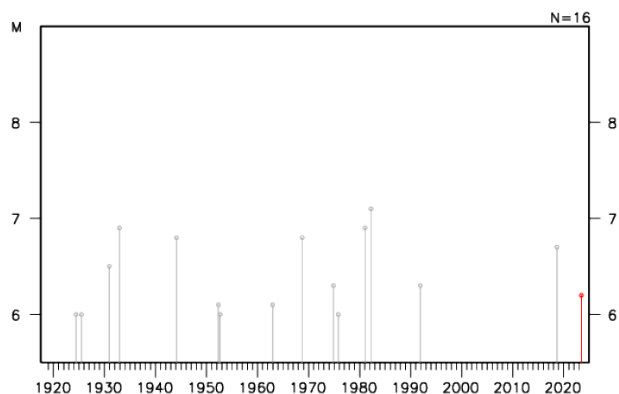
領域b内のM-T図及び回数積算図



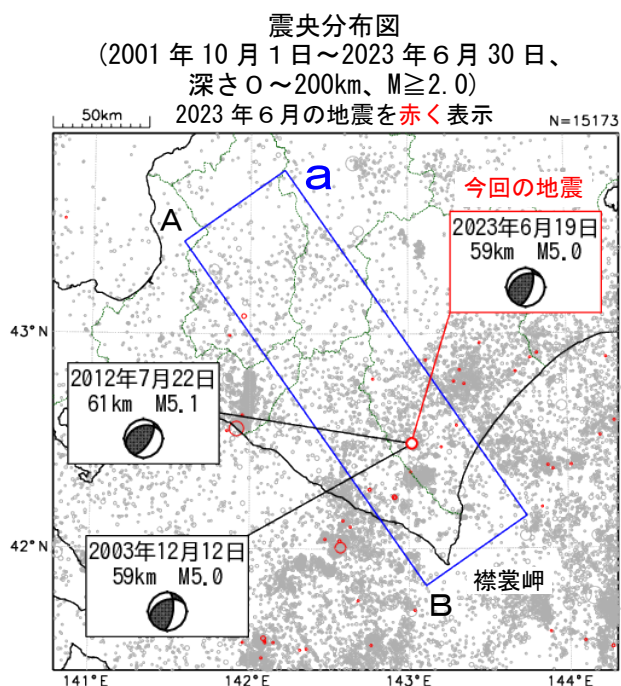
震央分布図
(1919年1月1日～2023年6月30日、
深さ0～200km、 $M \geq 6.0$)
2023年6月の地震を赤く表示 N=71



領域c内のM-T図



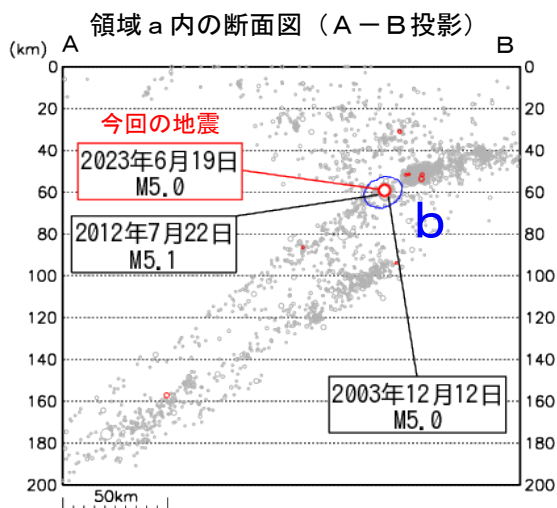
6月19日 十勝地方南部の地震



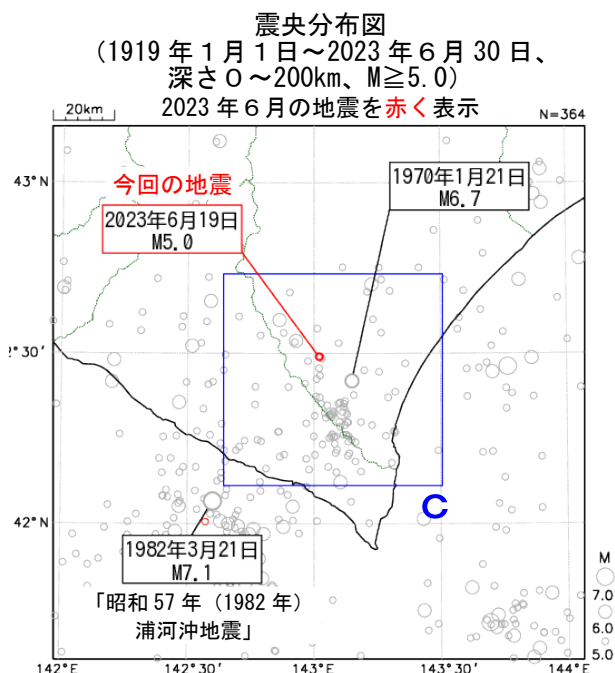
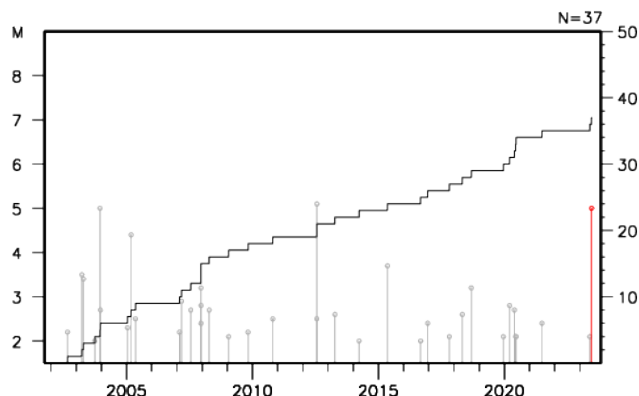
2023年6月19日13時50分に十勝地方南部の深さ59kmでM5.0の地震(最大震度3)が発生した。この地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震が今回の地震を含めて3回発生している。

199年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震が時々発生しており、1970年1月21日のM6.7の地震(最大震度5)では、負傷者32人、住家全壊2棟などの被害が生じた(「日本被害地震総覧」による)。



領域b内のM-T図及び回数積算



領域c内のM-T図

